

平成30年度第7回天童市教育委員会について（報告）

日 時	平成30年10月23日（火）午前9時00分 ～午前9時49分
場 所	教育委員会 第一会議室
出席委員	相澤一彦教育長、井上正信委員、本田孝之委員、 村山晴香委員、松村昌子委員
欠席委員	なし
出席者	大内淳一教育次長兼教育総務課長、戸田一彦学校教育課長、 村山裕二生涯学習課長、高橋清見学校給食センター所長、 事務局（教育総務課職員）

議 事

議第19号 平成30年度教育委員会感謝状贈呈について

<教育長あいさつ>

おはようございます。今日は満月です。楽しみにしています。

はじめに、10月から大貫委員に代わりまして松村昌子さんが新たな教育委員として就任されました。松村委員は、人権擁護委員や音楽教育に携わり、県の教育委員も経験されている等、幅広くご活躍されている方で、一緒に活動できることをうれしく思っています。よろしくお願いいたします。

また、天童三中の岩淵さんが少年の主張東北大会において、全国大会への出場が決まったとお聞きしました。こちらも大変うれしく思います。

今日は、3点についてお話ししたいと思います。

まず1点目は、天童の学校指針についてで、1つ目は、これまでの歩みを継承し、風化させないことが大切だと考えております。その中で、4年半前の1月7日にあった出来事を風化してはならないと感じております。

2点目は、積み重ねた特別支援教育の継続が大切だと考えております。特別支援教育は、山形市や鶴岡市などが先進地となっておりますが、天童市においても、これまで積み重ねたものを継続していくことが必要と感じております。

また、学力の向上が大切と考えております。学力観が変わり、時代のニーズに伴った教育が必要と感じております。

さらに、新しい教育の流れへの対応が必要と考えております。ICTの活用や英語教育、道徳教育の重要性が増す中、天童市の教育は発展途上にあり、今後、ますます強化すべきと感じております。

次に、天童の教育、新たな可能性について、「二千局盤来」の意味と教育的な可能性や、11月の総合教育会議時に話をさせていただく「天童市民教科書（仮）」の意味と可能性等、ふるさとを考え、知るための教育が必要と感じてお

ります。このことは、今後、ご意見をいただきたいと考えております。

むすびになります。新たな体制で、これまでの良さを継承し、知恵を出し合って前進していきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をお願いいたします。

以上、あいさつとさせていただきます。

< 議 事 >

議第19号 平成30年度教育委員会感謝状贈呈について

< 可決する >

審議経過

質疑なし

< 報 告 >

- ・学校給食センター調理・配送等業務委託に係る委託業者の選定について
(学校給食センター)

教育長：他には無いようですので、第7回教育委員会会議を終了します。